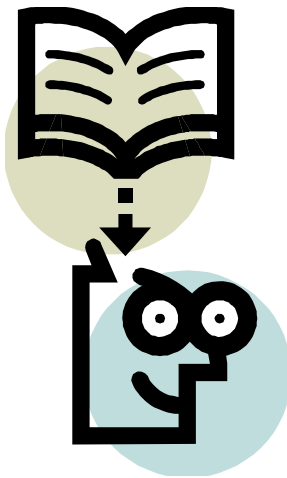


2012.10.5  
情報工学科  
メディア系プログラム

# 文献調査法



メディア系演習III

名古屋工業大学附属図書館

# メディア系演習III

- 各グループでテーマを決めて、作品(実験結果)を完成させ、その成果についてプレゼンをする。
- 卒業研究・卒業論文の練習



同じテーマに対して、これまでにどのような成果が上げられているかを調べるが大変重要

- 開発・研究における文献調査の方法について知ることが大事

# 一般的な研究発表までのステップ

① テーマを決める

② 先行研究を集める (本日のメイン)

③ 先行研究を読む

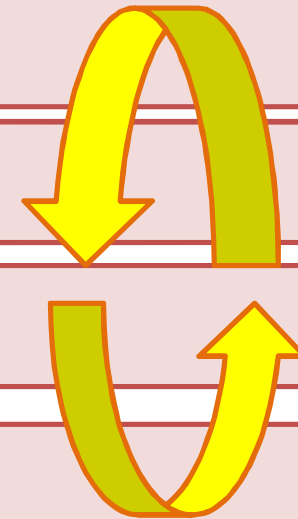
④ 仮説・モデルを構築する

⑤ システムを構成する

⑥ システムの動作を検証する

⑦ 検証結果を分析する

⑧ 発表資料を作成する



## ② 先行研究を集める

A: キーワードを作成する

B: 図書や雑誌のブラウズ

C: 文献リストの見かた(書きかた)

D: 図書や雑誌の探しかた

E: 論文の探しかた

F: 学内で入手出来ないとき

G: 気を付けてほしいこと

① テーマを決める

## テーマを決定したら

その作品で何が表現したいのか、書き出してみましよう。

例) メガネ型のディスプレイやスマホ、小型PCを携帯し、その画像を見ながら図書館を歩き、特定の場所からの信号を受信して、映像や音声案内で、機器の操作などが体感できるような、利用案内を作成したい。

## ② 先行研究を集める

先行研究とは？ 調べる必要性は？

最新の技術、卒論・卒研への  
展開が求められていましたね・・・。

有意性

人の役に立つ  
研究・技術  
ですか？

新規性

最新・最先端の  
研究・技術  
ですか？

信頼性

正しいデータや  
実験結果に  
基づきますか？

理工系の研究では必要不可欠な作業です。

## ② 先行研究を集める

学術文献とは、学術に関する専門的な情報

- ・査読による信頼性の確保
- ・実験による確認

速報性が高い

### 学術論文

- ・ 個別の研究内容を知る
- ・ 原著論文
- ・ 速報(レター)
- ・ レビュー、総説

### 学術図書

- ・ 知識を体系的に得る
- ・ 教科書
- ・ 参考図書

網羅性が高い

# (参考資料) 学術文献の種類

- **図書**

**教科書** ある学問分野の知識を体系的に整理して、入門者に提供するもの

**専門書**

**参考図書** 事典・ハンドブック・データ集

- **学術論文**

学術雑誌に掲載されている。学術雑誌は、学会・大学・企業・商業出版社などが週1回、月1回等定期的に刊行している。通常「査読」を受けている。

**原著論文** 研究成果を完全な形で報告する

**速報(レター)** 原著論文を公表する前に論文の骨子のみを公表する

**レビュー(総説)** ある分野に関する研究内容や文献の紹介

学会からのニュース記事等

- **その他**

会議録、テクニカル・レポート、学位論文、規格、特許 など



② 先行研究を集める

A:キーワードを作成する

「表現したいこと」から作成に向けて、**重要**と思われる単語に線を引きましょう。

例) メガネ型のディスプレイやスマホ、小型PCを携帯し、その画像を見ながら図書館を歩き、特定の場所からの信号を受信して、映像や音声案内で、機器の操作などが体感できるような、利用案内を作成したい。

② 先行研究を集める

A:キーワードを作成する

取り出した単語に別の表現がないか、関連する言葉はないかなどを調べてみましょう。

メガネ型ディスプレイ、スマホ、小型PC、携帯

Head Mounted Display, Wearable Computer  
Head-Up Display, Smartphone, Personal Digital Assistant  
Tablet PC ...

映像と音声案内、体感

Virtual Reality=仮想現実,  
Augmented Reality=拡張現実.....

日本語・英語 の両方で  
キーワードを準備しよう！

② 先行研究を集める

## B:図書や雑誌をブラウズする

⇒ ① 図書館の書架を見てみよう (図書)

資料は[日本十進分類表](#) (背ラベルの番号)の順番に並んでいます

007 情報科学

548 情報工学

549 電子工学

図書館  
南館2階  
です。

② 先行研究を集める

B:図書や雑誌をブラウズする

⇒ ② 図書館の書架を見てみよう（雑誌）

- 電子情報通信学会 <http://www.ieice.org/jpn/index.html>  
電子情報通信学会誌 電子情報通信学会論文誌  
電子情報通信学会技術研究報告
- 情報処理学会 <http://www.ipsj.or.jp/>  
情報処理 情報処理学会論文誌 情報処理学会研究報告
- 人工知能学会 <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/>  
人工知能学会誌 人工知能学会論文誌 人工知能学会研究会資料
- 映像情報メディア学会 <http://www.ite.or.jp/>  
映像情報メディア学会誌：映像情報メディア

→ 図書館南館4階(540)  
図書館北館3階(新着)です。

② 先行研究を集める

C:文献リストの見かた・書きかた

図書館の雑誌で、気になる論文を見つけました。  
その論文の末尾に、以下の記述がありました。

【1】 電子情報通信学科編. アンテナ工学ハンドブック. 第2版, オーム社, 2008, 1074p.

【2】 前田 真希ほか. “ウェアラブルARによる屋内ナビゲーションのための赤外線を用いたビジョンベーストラッキング”. 信学技報. ITS 103(639), 2004-01-26, 29-34.

【3】 T. HOLLERER et al. “Exploring MARS : developing indoor and outdoor user interfaces to a Mobile Augmented Reality System”. Computer and Graphics. 23(6), 1999, pp.779-785.

## ② 先行研究を集める C:文献リストの 見かた書きかた

# < 参考文献リスト の一例 >

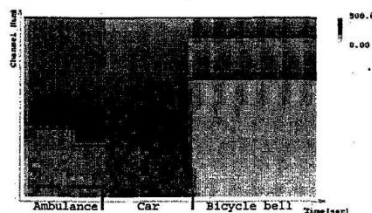


図9 屋外環境音に対する音源識別実験のための学習音

表6 屋外環境音に対する従来手法の識別結果

Neuron/Input	Recognition Rate[%]		
	Ambulance	Car	Bell
Ambulance	14.9	1.7	0.0
Car	<b>85.1</b>	<b>98.3</b>	<b>89.2</b>
Bell	0.0	0.0	10.8

表7 屋外環境音に対する提案手法適用時の識別結果

Neuron/Input	Recognition Rate[%]		
	Ambulance	Car	Bell
Ambulance	<b>100.0</b>	×	34.7
Car	-	×	-
Bell	0.0	×	<b>65.3</b>

ていたためだと考えられる。

そこで、複数の音が含まれるテストデータから目的の音を抽出するため、提案手法を適用する。このときの識別結果を表7に示す。

表7から、提案手法によりテストデータに含まれる目的音に対応するニューロンの識別率が最も高くなり、正しく識別できたことが確認できる。この結果より、屋外環境においても提案手法が有効であるといえる。

### 7. まとめ

本研究では、本研究室で提案している聴覚情報処理システムを用いて複数音が同時に入力された場合にシステムが対応することを目的とし、複数音からの目的音抽出方法を提案し、従来手法と比較実験を行い、計算機上で検証した。

まず、従来方法により複数音の同時入力に相当する2種の音を組み合わせ合わせた混合音に対して音源識別実験を行った場合、競合学習により入力に最も周波数的特徴の近いニューロンを一つ選択するSOMの動作により、混合音を構成する一つの音に対して音源識別が可能であったが、もう一方の音に対して識別することはできなかった。

そこで、第一識別音の次に周波数的特徴の近い音を検出させるため、第一識別ニューロンの出力を強制的に停止させる手法は第一識別音に近い周波数的特徴を持つ学習音が次に検出されやすいと考えられ、同時に重みの値を削減することを追加した。

以上のような提案手法での複数音に対する音源識別実験を行った場合、従来手法では識別することができなかった音を識

別することが可能であることが確認できた。

また、最終目標である屋外環境の音に対しての音源識別を行ったところ、定常的に存在する騒音により従来方法では正しく識別できなかったが、提案手法を用いることにより識別可能となることが分かり、提案手法の有効性が示された。

今後の課題としては、識別する音源数を増やし、提案手法の有効性を検証することが挙げられる。また、本研究では考慮しなかったリアルタイムにシステムを動作させ、今回の提案手法をどのようなタイミングで行うかを検討し、人間の注意動作のように自動的に目的音を抽出するモデルの構築を行うなどが挙げられる。

### 文 献

- [1] 岩佐 要, 黒柳 奨, 岩田 彰: "FPGAを用いたパルスニューロンモデルによる音源定位および音源種類の識別システムの実装" 電子情報通信学会論文誌 (D), Vol. J90-D, No. 11, pp. 3079-3090, Nov. 2007.
- [2] 坂口 晋也, 黒柳 奨, 岩田 彰 "環境把握のための音源識別システム", 電気情報通信学会 NC 研究会技術研究報告, NC99-70, pp. 61-68, 1999.12
- [3] Kohonen, T. "Self-Organizing Maps", Springer-Verlag, 1995
- [4] 黒柳 奨, 岩田 彰: "聴覚情報処理システムのためのパルスニューロンモデルを用いた競合学習ニューラルネットワーク" 電子情報通信学会論文誌 (D-II), Vol. J87-DII, No. 7, pp. 1496-1504, Jul. 2004.

② 先行研究を集める

C:文献リストの見かた・書きかた

これらは「文献リスト」といって、この論文を作成する際に使用した文献です。

図書の参考文献の書き方の一例

著者名. 書名. 版表示, 出版者, 出版年, 総ページ数.

【1】 電子情報通信学科編. アンテナ工学ハン  
著者名 書名

ドブック. 第2版, オーム社, 2008, 1074p.  
版表示 出版者 出版年 総ページ数

## ② 先行研究を集める

# C:文献リストの見かた・書きかた

論文の参考文献の書き方の一例

**著者名. 論文名. 誌名. 巻数, 号数, 出版年, ページ.**

【2】 前田 真希ほか. “ウェアラブルARによる屋内ナビ

ゲーションのための赤外線を用いたビジョンベーストラッキ

ング”. 信学技報. ITS 103(639), 2004-01-26, 29-34.

雑誌のタイトルは省略して書かれることも多い。

この雑誌は 信学技法 「電子情報通信学会技術研究報告」

[http://www.ieice.org/jpn/shiori/jd/app\\_g.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/jd/app_g.html) ← 省略の例



## ② 先行研究を集める

# C:文献リストの見かた・書きかた

### A. 単行本の場合

著者名あるいは編者名、出版年、書名、版次、出版社

### B. 雑誌論文・記事等の場合

著者名、出版年、論文のタイトル、雑誌名、巻数・号数、掲載ページ

### C. Webページの場合

作成者(分かれば)、Webページのタイトル  
アドレス(URL)、アクセスした日付

一般的に、  
これらの情報が  
含まれている  
必要がある。

② 先行研究を集める

C:文献リストの見かた・書きかた

論文の投稿先の雑誌の投稿規程に従う。

“SIST科学技術情報流通技術基準”  
では、基準が定められている。

<http://sti.jst.go.jp/sist/>

基準が記載されているので、  
実際に卒論などを書く際には、参考にしよう。

## ② 先行研究を集める

# D:図書や雑誌の探し方

## 学術図書・雑誌を探す

(キーワードや文献リストのタイトルから探すとき)

⇒ ② 名工大OPACを検索する。

(名古屋工業大学蔵書検索システム)

OPAC = Online Public Access Catalog

名古屋工業大学で所蔵する図書や雑誌を探す。

## OPAC検索の特徴

単語ごとの前方一致検索を行います。

人名などは、姓と名の上にスペースを入れて検索する。

## 実習①

<http://opac.lib.nitech.ac.jp/opac/>

名工大OPACで以下のタイトルを持つ  
図書や雑誌を探してみましよう。

① 仮想現実

② Virtual Reality

## ② 先行研究を集める

# D:図書や雑誌の探し方

[図書館ホームページ](#) | [ヘルプ](#) | [多言語表示の仕方](#) | [English version here](#)

名古屋工業大学附属図書館OPAC WWW検索サービス

[簡易検索](#) | [詳細検索](#) | [新着図書](#) | [新着雑誌](#) | [雑誌一覧](#) | [電子ジャーナル・電子ブックリスト](#) | [貸出ランキング](#)  
携帯版 OPAC





### 簡易検索画面

資料区分	:	<input checked="" type="checkbox"/> 全資料	<input type="checkbox"/> 図書	<input type="checkbox"/> 雑誌	<input type="checkbox"/> 視聴覚資料	<input type="checkbox"/> 電子ジャーナル	<input type="checkbox"/> 電子ブック			
和洋種別	:	<input checked="" type="radio"/> すべて	<input type="radio"/> 和書のみ	<input type="radio"/> 洋書のみ						
フリーワード	:	<input type="text" value="仮想現実"/>								
表示順/表示件数	:	出版年	▼	を	降順	▼	で表示	20	▼	件/ページ

## ② 先行研究を集める

# D:図書や雑誌の探し方

名古屋工業大学附属図書館OPAC WWW検索サービス

図書詳細情報     このページのURL [1/4] [一覧に戻る](#) [次を表示](#)

仮想現実学への序曲：バーチャルリアリティドリーム / 原島博, 廣瀬通孝, 下條信輔編  
タイトルのヨミ: カノウ ゲンジツガク エノジョキョク: バーチャル リアリティドリーム  
出版事項: 東京: 共立出版, 1996.7  
形態: 262p; 26cm  
ISBN: 4320028163  
著者標目形: [原島, 博\(1945-\)](#) || [ハラシマ, ヒロシ](#) <DA00640534>  
[広瀬, 通孝\(1954-\)](#) || [ヒロセ, ミチタカ](#) <DA02945554>  
[下条, 信輔\(1955-\)](#) || [シモジョウ, シンスケ](#) <DA02487358>

[詳細表示](#)

Find it @ NIT Webcat Plus 検索 CiNii Books を検索 名古屋市図書館OPAC表示

**書誌事項  
タイトル・著者・出版年  
・出版社などの情報**

**所在: どこにあるかという情報**

巻号	所在	請求記号	図書ID	資料状態(予約数) 返却予定日	予約
	<a href="#">図書館(図書開架)</a>	549.92  Ka 78	1255422	貸出可	

## ② 先行研究を集める

# D:図書や雑誌の探し方

雑誌詳細情報 [SJS](#) [EUG](#) [UTF](#) [✉](#) このページのURL [1/7] [一覧に戻る](#) [次を表示](#)

日本バーチャルリアリティ学会誌 / 日本バーチャルリアリティ学会 [編] = Journal of the Virtual Reality Society of Japan / Virtual Reality Society of Japan

タイトルのヨミ: ニホンバーチャルリアリティガクカイシ

巻次年月次: 1巻 (Dec. 1996)-

出版事項: 東京: 日本バーチャルリアリティ学会事務局, 1996-

ISSN: 13426680

著者標目形: [日本バーチャルリアリティ学会](#) || [ニホンバーチャルリアリティガクカイ](#) <DA15117952>

[詳細表示](#)

Find it @ NIT

Webcat Plus 検索

CiNii Books を検索

名古屋市図書館OPAC表示

受入情報(クリックすると受入情報を表示します)

[ [図書館\(雑誌開架\)](#) ]

一括所蔵情報

所在	巻号	所蔵年次	請求記号	注記
<a href="#">図書館(雑誌開架)</a>	10, 12-16, 17(1-2)+	2005-2012	540  二  4	

雑誌はタイトルがあっても、該当する巻号があるかを確認すること。

「+」は、これ以降も継続して所蔵ありという意味。

② 先行研究を集める

D:図書や雑誌の探し方

電子ジャーナル／電子ブックを探す。

従来紙媒体で発行されていた雑誌／図書が、電子化されインターネットで利用可能になったもの。

名工大で契約している電子ジャーナルは、学内LAN端末で論文のフルテキストを閲覧可能である。

図書館ホームページやOPACなどから、「電子ジャーナル・電子ブックリスト」を選択する。

\* 有料ジャーナルの自宅からのフルテキスト閲覧はできない。



② 先行研究を集める

# D:図書や雑誌の探し方

The screenshot shows the library website interface. A red arrow points to the '電子ジャーナル 電子ブック' (Electronic Journals/Electronic Books) link in the left sidebar. Another red arrow points to the search input field. A third red arrow points to the search results table.

名古屋工業大学電子ジャーナルリスト  
Nagoya Institute of Technology Online Journals

雑誌タイトル | 図書タイトル | 分野・提供元から検索 | 巻・号・頁等から検索

0-9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z Others  
あいうえおかきくけこ さしすせそ たつと なにぬねの  
はひふへほまみむめも やゆよ りるれろ わをわ

タイトル:   で始まる  を含む  と一致

Go

ジャーナルの総数: 12  
詳細表示に切り替え

ジャーナルタイトル	提供元	利用可能	操作
電気化学および工業物理化学	Free E- Journals J-STAGE Free	利用可能開始: 1999 巻: 67 号: 1 利用可能: 2006	詳細

# 課題1. をやってみましょう

時間が余った人は、興味のあるキーワードで名工大OPACを検索してみたり、電子ジャーナル／電子ブックリストを眺めたりしてみましょう。

② 先行研究を集める

## E:論文の探し方

⇒ どんな論文があるかを探すのに  
使うツールは文献データベースです。

研究内容に関するキーワードで検索し、  
どんな文献が公表されているのか、  
その文献はどの雑誌のどのページに掲載されて  
いるかを探す。

② 先行研究を集める

# E:論文の探し方

名工大で契約している文献DB

名古屋工業大学 附属図書館 [English]

- お知らせ (詳細)
- 利用案内
- オンライン目録
- 名工大OPAC
- Nacsis Webcat [ <http://webcat.nii.ac.jp/> ]
- 予約雑誌目録(pdf)
- 機関リポジトリ
- 学内限定サービス
- データベース
- 電子ジャーナル 電子ブック
- 学外文献依頼 [利用説明]
- ポータルサービス紹介(pdf)
- 広報
- リンク
- サイトマップ
- 閉館日カレンダー

- [聞蔵Ⅱビジュアル](#) (朝日新聞記事データベース 同時利用 1人) 朝日新聞、週刊誌「AERA」の「朝日新聞」の記事検索ができます(・イメージを表示させる際「DocumentSkipper」が「DocumentSkipper」コントロールについては聞蔵Ⅱビジュアル「DocumentSkipper」ダウンロードはこちらをご覧ください。
- [JSA Library](#) (JSAについて (同時利用 2人 御器所キャンパス) 日本規格提供、JIS規格(日本工業規格)をネットワークサービス。
- [化学書資料館](#) 日本化学会の編集物などの化学関連図書の検索・閲覧が可能。テキストにアクセスできます。
- [MAGAZINEPLUS](#) (雑誌・論文情報情報データベース 同時利用) 雑誌記事索引(国立国会図書館)に論文集、学会年報・研究報告情報を加えたデータベースです。  
・名工大図書館OPAC・J-STAGEフルテキストへのリンク機能あり  
・[採録誌一覧](#)(日外アソシエーツ作成)
- [GeNii\(NII学術コンテンツ・ポータル\)](#) 国立情報学研究所が提供する、CiNii(NII論文情報ナビゲータ)、Wtata、KAKEN(科学研究費成果公開サービス)、NII-DBR(学術研究検索)検索できます。
- [JDreamⅡ](#) (科学技術文献情報データベース 同時利用 5人) (独)科学技術振興機構が提供する、日本最大級の科学技術文献雑誌論文が検索可能で、日本語による抄録が付きます。過去(まれます。  
・ログイン画面の「お名前」欄には、学科・専攻・教育類を入力して
- [Scopus](#) Elsevier社が提供する、科学・技術・医学・社会科学の書誌・引用

## ② 先行研究を集める

### E:論文の探し方

## CiNii Articles

国内を中心とした学術論文情報データベース

- ・ 国内学協会誌(全文みられるものあり)
- ・ 国内大学等発行の研究紀要(全文みられるものあり)
- ・ 引用文献索引データベース
- ・ 雑誌記事索引データベース<国立国会図書館>

全文提供サービスあり

「オープンアクセス」→ 学外でも見られる

「定額アクセス可能」→ 学内LANから見られる

「有料」→別途費用が必要

「未公開」→刊行後一定期間中は見られない

## ② 先行研究を集める

### E:論文の探し方

## Scopus

世界の4,000以上の出版社から出版される科学・技術・医学・社会科学の論文・特許・Webなどの情報を網羅する書誌・引用文献データベース。国内出版物は、約400タイトル収録されている。

収録年数は、1847年～

引用文献検索は、1996年～

## 実習②

CiNii Articlesで以下のキーワードを持つ論文を探してみましょう。

① 拡張現実

② Wearable Computer

③ ①+②

## ② 先行研究を集める E:論文の探し方

The screenshot shows the CiNii Articles search interface. At the top, there is a navigation bar with three tabs: '論文検索' (Article Search), '著者検索' (Author Search), and '全文検索 (beta)' (Full-text Search (beta)). To the right of these tabs is a link: '大学図書館の本をさがす >' (Find books in university libraries >). The main search bar contains the text '拡張現実 Wearable Computer', which is circled in red. Below the search bar is a section for '詳細検索' (Detailed Search) with various filters: '論文名' (Article Title), '著者名' (Author Name), '著者所属' (Author Affiliation), '刊行物名' (Publication Name), 'ISSN', '巻' (Volume), '号' (Issue), 'ページ' (Page), '出版者' (Publisher), '参考文献' (References), '出版年' (Publication Year), '年から' (From Year), and '年まで' (To Year). There are three radio buttons for search criteria: 'すべて' (All), 'CiNiiに本文あり' (Full text available in CiNii), and 'CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり' (Full text available in CiNii or link to a linked service). A '検索' (Search) button is located at the bottom of the search section. At the very bottom of the page, there is a link: 'CiNii本文収録刊行物ディレクトリ' (CiNii Full-text Indexed Publication Directory).



② 先行研究を集める

# E:論文の探し方

“ ”で囲むと  
センテンスで  
検索できます。

The screenshot displays the Scopus search interface. At the top, there are logos for SciVerse and Scopus, along with navigation links for Hub, ScienceDirect, Scopus, and Applications. Below this is a menu with Search, Sources, Analytics, Alerts, My list, and Settings. A section titled 'Recently discovered issues and suggested workarounds' is visible. The main search area is titled 'Document search' and includes tabs for Author search, Affiliation search, and Advanced search. The search input field contains the query '"Augmented Reality" and "Wearable Computer" in', which is circled in red. A blue callout bubble points to this query with the text: '“ ”で囲むとセンテンスで検索できます。'. Below the search field, there are options for 'Search tips', 'Add search field', and a 'Search' button. The 'Limit to:' section includes 'Date Range (inclusive)' with radio buttons for 'Published' and 'Added to Scopus in the last 7 days', and 'Document Type' set to 'ALL'. The 'Subject Areas' section has checkboxes for Life Sciences, Health Sciences, Physical Sciences, and Social Sciences & Humanities, all of which are checked. A second 'Search' button is located at the bottom right of the search area.

## ② 先行研究を集める

# E:論文の探し方

The screenshot shows a research paper titled "A Hierarchical Annotation Database and a Dynamic Priority Control Technique of Annotation Information for a Networked AR System" by Takada Daisuke, Ogawa Takefumi, Kiyokawa Kiyoshi, and Takemura Haruo. The page includes author information, a list of search options, and a preview section. Two callouts provide additional information:

- Callout 1 (Left):** Explains that the paper's PDF is available for "Open Access" (「オープンアクセス」), which means it can be viewed from outside the university (「学外でも見られる」) and is "Fixed Amount Accessible" (「定額アクセス可能」), meaning it can be viewed from within the university (「学内から見られる」).
- Callout 2 (Right):** Points to a link labeled "Find it @ NIT" (「Find it @ NIT」) and explains that clicking on this link will open a search window, allowing users to find the document and conduct further research (「中間窓が開き、リンクをたどることにより、文献の入手や、更なる調査ができます。」).

## ② 先行研究を集める

# E:論文の探し方

Find it @NIT

= リンクリゾルバ

### 1. 電子ジャーナルリスト管理機能

本学で契約している電子ジャーナル・電子ブックおよび提供元より無料公開されている電子ジャーナル等のオンライン 学術情報資源を、検索・利用することができます。

### 2. リンクナビゲーション機能

名工大OPAC/MAGAZINEPLUS/CiNII Articles/SciFinder/JDreamII/Scopus/MathSciNet/Google Scholar 等の データベースの検索結果上にある、「Find it@NIT」アイコンをクリックすると、該当する電子ジャーナルや、図書館の蔵書検索、他のデータベースへ誘導する中間窓が表示されます。 中間窓にあるリンクによりの手順へジャンプできます。

この機能を上手に利用して、目的の文献を効率よく入手しましょう。

## ② 先行研究を集める E:論文の探し方

Find it @ NIT  
Nagoya Institute of Technology  
名古屋工業大学

文献情報

論文名: ネットワーク型拡張現実感システムのための階層的注釈情報データベースと動的優先度制御手法  
著者名: 高田 大輔  
掲載資料: 日本バーチャルリアリティ学会論文誌  
ISSN: 1344-011X 年: 2008  
巻: 13 号: 2 ページ: 279-287

文献を入手する

フルテキスト(電子)を入手する  
CiNii 定額アクセス可能 でフルテキストを見る  
年: 2008 巻: 13 号: 2 開始頁: 279 GO

フルテキスト(冊子)を入手する  
名古屋工業大学 の所蔵を確認する GO

外部機関の所蔵を確認する

他大学(Nacsis Webcat) の所蔵を確認する GO  
他大学(CiNii Books) の所蔵を確認する GO  
愛知県図書館 の所蔵を確認する GO  
国立国会図書館 の所蔵を確認する GO

他機関から文献を取り寄せる(登録者限定)  
ILL文献複写・図書貸借依頼 を申し込む GO

もっと文献を調査する

データベースから、文献データ  
が引き継がれる

名工大で電子的(電子ジャーナル等)  
に入手できるときに表示される

名工大OPACを検索する  
\* 雑誌がヒットしても、該当する巻号の  
所蔵まで確認すること!

他大学にある資料を利用するためのリンク  
他機関の蔵書検索システム  
ILLサービス依頼

文献データを引き継いで、他データベースへリンク

# (参考資料) その他の文献検索ツール

## – 学術資料専用検索エンジン

Google Scholar (日本版)

<http://scholar.google.co.jp/>

Scirus

<http://www.scirus.com/srsapp/>

無料で公開されてい  
ていて、  
自宅からでも  
検索可能

## – 各電子ジャーナルホームページ

電子ジャーナルを提供する出版社のページでは、無料の文献検索機能があることが多いので、この機能を使って「その出版社で公開されている文献」を検索することが可能。

## 課題2. をやってみましょう

時間が余った人は、違うキーワードで検索してみたり、Scopusで、英語の論文を検索したりしましょう。

## ② 先行研究を集める

# E:名工大の図書館で入手できないときは

## Webcat / CiNii Books (国立情報学研究所)

全国の大学図書館等で所蔵する図書や雑誌を探す

機関名(大学名)をクリックすると、連絡先や利用条件などが表示される

## ILLサービス Inter Library Loan

相互協力関係にある大学等へ資料の貸借・複写を依頼するサービス

有料(送料、複写料など)

## 訪問利用

他大学図書館を直接訪問して、資料を利用する。

Webcat/CiNii Booksの組織情報や各大学図書館のホームページをみて、

訪問先の利用条件・開館時間等を確認すること

いずれも、図書館のカウンターで相談しよう！！

② 先行研究を集める

F: 気を付けてほしいこと

電子ブック・電子ジャーナル・データベース  
利用上の注意点

- **著作権法**を遵守。
- 出版社の定める**利用規約**の厳守。  
個人利用、あるいは研究利用であること  
大量ダウンロード、大量プリントアウトの禁止  
複製・再配布の禁止

大学全体の利用が差し止めになることも……。



## ② 先行研究を集める

### F: 気を付けてほしいこと

WEB上には様々な情報が溢れています。  
それを有効に活用することはいいのですが……

- ・情報の発信者は誰か？発信者は信用できるか？
- ・情報源が記載されているか？情報源は妥当か？
- ・情報の掲載日は古くないか？
- ・複数の情報が同じことを示しているか？
- ・図書や学術雑誌では何と書かれているか？
  - 図書や学術雑誌は出版社や査読によるチェックを受けている

### ③ 先行研究を読む

## 先行研究を読むときのポイント

### 論文を理解する

- ①どんな問題を扱っているのか
- ②どんな方法で実験やアプローチをしているのか
- ③結果はどうなったか
- ④結果の持つ意味は(結論はなにか)

### 論文同士の関係性を調べる

- ①先行研究同士の類似点と相違点を洗い出す。

### 先行研究を批判する

- ①批判的に読み解くことで、自分の主張の位置づけが明らかになってくる。

これらの作業は必ずメモ(記録)を残しておこう！  
リスト化しておくとともに◎

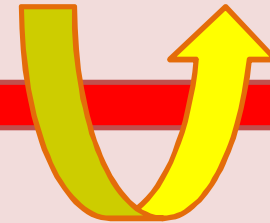
今まで学んだ専門知識を活かす場です！

④ 仮説・モデルを構築する

⑤ システムを構成する

⑥ システムの動作を検証する

⑦ 検証結果を分析する



# ⑧ 発表資料を作成する 引用について

他人の著作物(文章、図、表 等)を  
自分の論文中に記載する

## <引用における注意事項>

- ・自分の著作物と引用部分とが区別されていること
- ・自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること  
(自分の著作物が主体)
- ・出所の明示がなされていること
- ・正確に引用すること ← 孫引きは避ける
- ・文献リストには、その文献を入手しようとしたとき必要な情報が  
すべて記述されていること  
など

# ⑧ 発表資料を作成する 引用について

## 1. まえがき

人間は音に対する受容器である聴覚から情報を得て、脳内で高度な情報処理を行うことにより音源識別や音源定位を行うことができる。また、実環境下で得られる音の多くは複数の異なる音源から発生する音であるが、人間は複数の音情報の中から特定の音源だけを選択的に抽出して聴くことができる。このような音を識別することは周辺環境を把握し、次の行動を判断するための重要な役割となる。

しかし、音を得ることが困難な聴覚障害者や高齢者は危険を通知する音が鳴っていても分からないため、それに対する適切

な行動を取ることが難しい。このため、代わりに音源識別を行い、音を視覚的に伝えるシステムが有用である。

このような音源識別を行う人工的なシステムとして、本研究室では人間の聴覚機構を模倣した聴覚情報処理システムを提案している。このシステムは音源定位、音源識別が可能であり、またリアルタイム処理が可能、ハードウェア化が容易である[1]という利点を持つ。

これにより、前に述べたような聴覚障害者等に対する補助装置への応用が期待される。しかし、音源識別において、複数の音がシステムに入力された場合、識別率が低下することが分かっている。一般

引用した箇所に番号を付ける

## 文 献

- [1] 岩佐 要, 黒柳 奨, 岩田 彰: “FPGA を用いたパルスニューロンモデルによる音源定位および音源種類の識別システムの実装” 電子情報通信学会論文誌 (D), Vol.J90-D, No.11, pp.3079-3090, Nov.2007.
- [2] 坂口 晋也, 黒柳 奨, 岩田 彰 “環境把握のための音源識別システム”, 電気情報通信学会技術研究報告, NC99-70, pp.61-68, 1999.12
- [3] Kohonen. T. “Self-Organizing Maps”, Springer-Verlag, 1995
- [4] 黒柳 奨, 岩田 彰: “聴覚情報処理システムのためのパルスニューロンモデルを用いた競合学習ニューラルネットワーク” 電子情報通信学会論文誌 (D-II), Vol.J87-DII, No.7, pp.1496-1504, Jul.2004.

引用した文献の情報を  
正確に記載する

⑧ 発表資料を作成する

再掲

C:文献リストの見かた・書きかた

A. 単行本の場合

著者名あるいは編者名、出版年、書名、  
版次、出版社

B. 雑誌論文・記事等の場合

著者名、出版年、論文のタイトル  
雑誌名、巻数・号数、掲載ページ

一般的には、  
これらの情報が  
含まれている  
必要がある。

C. Webページの場合

作成者(分かれば)、  
Webページのタイトル  
アドレス(URL)、アクセスした日付

# 終わりに

- 附属図書館ホームページをご覧ください。  
<http://www.lib.nitech.ac.jp>
- ポータルサイトでも図書館サービスを提供しています。  
<http://www.cc.nitech.ac.jp/>

文献の探し方・入手方法  
などで、困ったこと、わからないことは  
気軽に、附属図書館のカウンターで  
お尋ねください。